



成模様によるともいえます。二十歳を過ぎると、脳細胞は二日約十萬個死滅する」という説があります。また、人間の思考する為の脳細胞は若いときにしっかりとシナプスを発達させて形成しておかないと、人として一番大切な思考力が低下する速度が人それぞれ異なった形で現れると考えられます。さらに、驚くべき事に二十歳までにやるべき訓練・学習を怠ると、自分の知らない素晴らしい能力を発見できないまま一生を終わる可能性があるという事です。例えると、光り輝くダイヤモンドの原石の位置を知りながら、掘り出すことをしないで地中に埋没させてしまうことと同じです。

掘り起こせ、眠っている潜在能力

Dig up your potency. and train it well.

校長 山中 泉

夏季休業の前は、野球部の三回戦進出の活躍により全校生徒が小瀬球場で応援しました。また、沖縄で開催された『美ら島沖縄総体二〇一〇』に陸上部、弓道部が出場し、その中でも弓道部女子が団体で全国準優勝の快挙を達成し、県内外関係者から高く評価を頂いています。また、今年度初めてインターシップ事業として、農作業体験に三十名の生徒が参加し、進学校の活動として将来の農業分野への関心に期待する意見とともに山梨日日新聞に掲載されました。今年の夏もいろいろな活動が成果を挙げ、さらに巨摩高校生の活躍が期待できそうです。

さて今回は、高校生の時期の脳細胞について考えてみたいと思います。私たちが考えたり、行動したりするために必要な神経細胞は、脳の外側の厚さ二〜三ミリの膜のようなどころにあります。これを大脳皮質といい、ここでの細胞の数は約二〇〇億個あります。そして、神経細胞間の連絡の役割を担っているのがシナプスといわれるもので、つ

の細胞に誕生後すぐの頃は、三個程度用意されています。人間の成長と共に、勉強したり、訓練したり、いろいろな経験により、このシナプスのネットワークが変化していきます。『頭が良くなる』ことは、このシナプスのネットワークが密になることであるといわれます。

今の皆さんは、学習・訓練によって自分を鍛え、磨き、自己の潜在能力を掘り出さなければならない時です。将来、社会生活で求められるのは、いかに自己の能力のやりがいのある仕事を見出せるかにあるといえます。与えられた仕事の中に、自分の個性を発揮できる部分をいかに創り出せるかともいえます。

教育環境の優れた巨摩高校での三年間に、いろいろな学習経験の中で自己の潜在能力を掘り起こし、磨き上げることを大いに期待しています。



熱く、熱く。

真夏日の日数が観測史上最高を記録した今年の夏。本当に「暑かった」...そして、我が巨摩高生は「熱かった」!! さまざまな分野で熱い、本当に熱い活躍をみせてくれました。

インターハイでは、弓道部女子 団体が全国で2位に!!

[インターハイ戦績]

弓道部女子団体準優勝

秋山菜摘(3年)・秋山未来(3年)・小林由実(3年)
西中山温音(2年)・三枝琴音(2年)・小松智子(1年)

弓道男子個人 中村哲也(3年)

陸上部 円盤投げ 内藤朱香(3年)



弓道部 秋山菜摘
ちゅしま 沖繩インターハイ。全国という舞台上で弓道部が快挙達成!! 決勝戦でも同中(あたった矢数が同じ)で、決戦の競射の末の2位!! 巨摩高校の歴史に大きな、大きな足跡を残しました。この快挙を生み出したものは何か? チームリーダーの秋山菜摘さんが想いをつづってくださいました。

弓道部 秋山菜摘

インターハイでの目標は予選突破でしたが、少しでも良い結果を残せよう6人の力を合わせて頑張ろう! と思っていました。大会当日は、多くの方々が応援してくれている中、不安やプレッシャーを感じることもなく、楽しんで引くことができました。そして、初めの目標だった予選突破を果たし勝ち進むうちに、目標は日本へと変わりました。一人ひとりの気持ちが充実していたし、仲間を信じていたので、私たちが大丈夫だと自信を持って一戦一戦に臨むことができました。決勝では競射で敗れ、惜しくも準優勝でしたが、チームワークの良さでは優勝したチームにも負けていなかったと思います。全国準優勝という結果を残すことができ、先生方や監督に恩返しができるのではないかと思います。また、最後の大会を終えた今、巨摩高校で弓道をやってきたことがよかったです。私にとってインターハイは一生の思い出に残る大会となりました。

巨摩高生の夏 2010

野球部も奮闘! 3回戦進出!!



第56回 白嶺祭

第56回白嶺祭が、「魂(たましい)」をテーマに6月23日(水)、24日(木)の2日間開催されました。

魂

tamashii



あの2日間を、全力で駆け抜けたあと、自分のなかで、クラスのなかで、学校のなかで... 何かが、深く、大きくなったような気がします。